

2014年7月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

7

2014
July
No.258

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 谷 浩明

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[26.6.1現在]

4,015名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶地域包括ケアシステム P4▶活動報告/会長行動報告

P8▶会員ライフサポート部活動報告46報 P10▶学会情報

P11▶研修会・講習会 P14▶information P15▶余剰を愉しんでみよう P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



運動と栄養

医療法人社団 清恵会 田村外科病院
高橋浩平

先日、小学校に通う愛娘が、あるリーフレットをもらってきていました。「元気アップ大作戦」という、子供が遊びながらできる体操が載っているものでした。現在、子どもたちの体力低下が問題となっていますが、運動するきっかけ作りになるように…というのが目的のようです。リーフレットの冒頭には運動の重要性とともに、バランスの良い食事が大事であることも書かれていました。今に限らず、「運動と栄養」は健康を維持するために大事であることは教えられてきており、私たちも常識としてそれを知っています。しかし、翻って我々の現場である医療・介護・リハビリテーション（以下、リハ）において、この重要性は認識されているでしょうか。

確かに、栄養状態が良好で栄養のことを考えなくても身体機能・ADLが改善する人はいます。私も以前勤めていた病院で、栄養サポートチーム（NST）に参加するまでは、栄養について特に関心をもっていませんでした。当初は「理学療法士なのになぜ栄養の委員会に参加しなければならないのか」とさえ思っていました。そんな疑問を持ちながら参加していたある日、私が担当していた大腿骨近位部骨折の患者さんがNSTの対象となりました。受傷前は歩行が可能だったのですが、リハをしても思うように筋力やADLが改善せず、悩んでいた症例でした。実は、その方は手術後から食欲が低下し、1日300kcal程度しか経口摂取をしていない状態で2週間以上過ごしていたのです。NSTからの情報でこの事実を知り、愕然としました。元々痩せていた方でしたが、体重がさらに減っていたこともNSTの情報で知りました。それまでは改善しない原因を自分の技術やプログラムが悪いから、などと考えていました。栄養状態が悪いからとは思っていませんでした。NSTの指示により、中心静脈栄養が開始された後は、それまでと同じようリハをしていたにもかかわらず、みるみる元気になり、表情も良く意欲的になってきました。最終的に歩行が可能とな

り、自宅退院されました。私は常識的な「運動と栄養」の重要性は多少なりとも知っていたにもかかわらず、リハにおいても重要であることに、その時初めて気が付きました。そしてNSTの参加意義を見出したのと同時に、栄養について学習する必要性を感じました。しかし、理学療法士は栄養について学習する機会は少ないのが現状です。医師、看護師、薬剤師なども同様だそうです。

低栄養の問題は私の勤務していた病院に限ったことではありません。高齢者の入院患者では4～5割が低栄養だったという報告があります。また入院患者の半数以上は経口摂取量が不足していた報告や入院中に低栄養患者の割合が増加したという報告もあります。低栄養状態ではグリコーゲンが枯渇しているため、運動時に脂肪や筋蛋白質を分解してエネルギーを作る代謝を動員します。つまり栄養評価をせずに積極的なリハを行うことで、筋肉量が減少し、かえって身体機能低下や低栄養を助長させてしまう可能性もあるのです。医療スタッフの栄養に関する知識が不足していると、「医原性の低栄養」を生み出してしまうことにもなりかねません。そうならないために、我々も栄養に関心を持つ必要があると思います。栄養評価の方法は様々ありますが、担当患者さんの経口摂取量を確認することや体重の変化を評価することは重要な栄養評価ですし、理学療法士にも出来ます。最近では、理学療法の評価でもある上腕周径や下腿周径、筋力の評価が栄養状態の指標として重要視されています。摂取量が低下していたり、体重や筋肉量が減少していたりすれば、管理栄養士や医師、看護師などに相談し、多職種を巻き込んで評価・介入していくことが何より大事だと思います。

「運動と栄養」は人間の基本であり、医療においても同じことが言えます。理学療法士も医療の基本である栄養に関心を持ち、多職種とともに学習をしていくことが必要であると感じます。

地域包括ケアシステム

神奈川県での地域包括ケアシステムの実現へ向けて 私たち理学療法士に求められていること

会長 秋田 裕

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

現在65歳以上の人口は3,000万人を超え、国民の約4人に1人となっています。さらに2042年には約3,900万人でピークを迎え、その後も75歳以上の人口は増加し続けることが予想されています。

このような状況の中で、団塊の世代約800万人が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

このため、厚生労働省では、2025年を目途に、高齢者の尊厳を保持し、自立生活を支援することを目的として、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制、すなわち「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要で、システム構築には、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基

盤の整備とを同時にすすめることが重要です。

地域包括ケアを推進する取り組みについては、その充実・強化施策として「医療・介護連携」「認知症施策」「地域ケア会議」「生活支援・介護予防」が掲げられており、リハビリテーション専門職には、特に「介護予防」と「地域づくり」を担うことが期待されています。

この事業を推進する実質的な主体は市町村であり、そのため私たち都道府県理学療法士会が果たす役割はたいへん重要です。すでに協会では「地域包括ケアシステム推進対策本部（対策本部長：森本榮）」を設置し、都道府県理学療法士会の法人機能の強化と人材育成を後方支援する方向性を提示しており、本会でも「地域包括ケア推進対策委員会（委員長：秋田裕）」を設置したところです。

地域包括ケアシステムを推進していくための今後の取り組みとして、①医療との連携強化、②介護サービスの充実強化、③予防の推進、④多様な生活支援サービスの確保や権利擁護、⑤住み続けることができる高齢者住宅の整備、が示されていますが、これらのどれひとつをとっても、理学療法士が介入できる、また介入すべき領域ではないでしょうか。私たち理学療法士は、自立を支援する



図1) 2025年の地域包括ケアシステムの姿（政府；第2回社会保障制度改革国民会議資料より）



ための知識・技術を持っており、また生活機能についての予後評価ができる能力を持っています。そして生活機能・運動機能の向上・支援の視点からも、他職種協同の中でリーダーシップを発揮することができ、またそのように期待される役割があるのです。

神奈川県および県内市町村が主体的に展開する地域包括ケアシステムに対応するためには、本会会員の皆さんの個々の意識を高め、県民の保健・医療・福祉に対する期待に応えていかなければなりません。

私たち理学療法士がこれからやるべきこと、担うべき役割をしっかりと自覚し、すでに地域社会の中で在宅医療・福祉・介護の分野で働く皆さんも、病院・施設に勤務する皆さんも、本会会員4,000人の理学療法士が一人ひとりの英知を結集し、この社会的課題に取り組んでいきましょう。



図2) 地域包括ケアシステムのイメージ
(持続可能な介護保険制度及び地域包括ケアシステムのあり方に関する)

地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度について

地域包括ケアシステム推進対策委員会 担当理事 久保木あずみ

日本理学療法士協会では、「地域包括ケアシステム」を推進するにあたり、「地域ケア会議」「介護予防」の施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることの出来る人材育成に取り組んでいます。そのための育成制度として【地域包括ケア推進リーダー】【介護予防推進リーダー】の2つの認証コースが設置されました。当士会としても、900万人の神奈川県民の生活を支援すべく、リーダー育成を推奨していきます。

《目指すリーダー像》

【地域包括ケア推進リーダー】

- ・第1に地域ケア会議の目的を踏まえた上で会議に参加し、自立支援につなげる助言が出来る

【介護予防推進リーダー】

- ・理学療法士として専門性を生かした評価が出来る
- ・効果的な予防プログラムを企画、提案が出来る
- ・多職種や住民との協働による予防プログラムを企画、提案が出来る

履修要件として、e-ラーニング受講(受講免除要件あり)、士会主催による導入研修、士会指定事業の参加が必須事

項となっています。導入研修、士会指定事業については、随時県士会ホームページにて情報を公開致します。

- ・導入研修開催予定

地域包括ケア推進リーダー 平成26年10月予定

介護予防推進リーダー 平成27年1月予定

履修要件の詳細については、**日本理学療法士協会ホームページ(教育・研修)**をご参照ください。なお、認証コース修了者には、生涯学習ポイント40ポイントが付与されます。

会員の皆様のご積極的ご参加をお待ちしております。

活動報告

研究支援部からのお知らせ

県士会の部局制の変更に伴い、今年度より研究支援部が設置されました。

研究支援部の役割は、部局名の通り「研究活動を支援すること」です。士会員の人数も今年度、4000名を超える事となりましたが、その一方で、1人職場など先輩から十分に学ぶことができる環境にない会員も増加しています。症例検討を始めとした研究活動は、クリニカルリーディングなど臨床考察をしていくための仮説と実証のトレーニングとして非常に有効です。士会員の支質の向上に寄与すべく活動していきます。

今年度の活動予定

①「学会ナビ」の県士会ホームページ上での公開

第31回神奈川県理学療法士学会のホームページ上で公開していた「学会ナビ」を装い新たに県士会ホームページで恒常的に公開する予定です。研究計画の立案から、発表に至るまでの流れをわかりやすく説明したチューターシステムです。近日公開予定ですので、学会発表に興味はあるけれど、やり方がわからない方は是非ご覧ください。

②第32回神奈川県理学療法士学会での研究支援部講習会の開催

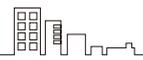
現在、県学会で「研究計画の立て方と抄録の書き方」についての講習会を開催予定です。臨床上の疑問点を出発点とした研究計画の立て方と、学会査読の際、チェックされる項目を考慮した抄録の書き方に関してレクチャーします。新人教育プログラム履修者向けに単位の取得ができる予定です。

研究支援部 池田崇(介護老人保健施設リハビリケア湘南かまくら)

連絡先: kpta.reserch@gmail.com



月	日	内容	場所
4月	3日(木)	会務処理	
	5日(土)	PT協会裁定部会 東京都士会会長野本先生退任慰労会	田町カンファレンスセンター 東京ガーデンパレス
	8日(火)	常任理事会、会務処理	事務所
	13日(日)	PT協会理事会	田町カンファレンスセンター
	14日(月)	会務処理	事務所
	16日(水)	県医療専門職連合会事業企画広報合同委員会	放射線技師会事務所
	18日(金)	会務処理	事務所
	20日(日)	新人オリエンテーション 事務局歓迎会	関内ホール 横浜
	21日(月)	神奈川ロイヤル社対応、会務処理	事務所
	22日(火)	事業運営会議、会務処理	事務所
	23日(水)	49回学会準備委員会	事務所
	24日(木)	県委託事業打ち合わせ	昭和音楽大学
	30日(水)	相模原市高齢政策課菊地原課長対応 災害対策委員会	事務所 事務所
	5月	7日(水)	会務処理
10日(土)		日本理学療法士連盟理学療法士組織代表候補者選考委員会	田町
12日(月)		地域包括ケア推進委員会、会務処理	事務所
13日(火)		常任理事会、会務処理	事務所
15日(木)		県医療専門職連合会理事会	放射線技師会事務所
18日(日)		監査会	事務所
20日(火)		理事会、会務処理	事務所
22日(木)		49回学会準備委員会、会務処理	事務所
26日(月)		地域包括ケア推進対策委員会、会務処理 会務処理	事務所 事務所
29日(木)		49回学会現地打ち合わせ PT協議事運営委員会	パシフィコ横浜 田町カンファレンスセンター
30日(金)		49回学会、レセプション	パシフィコ横浜
31日(土)	49回学会、支援工学分科会学会運営幹事会	パシフィコ横浜	



平成26年度新人オリエンテーションを終えて

総務部長 木下 尚久 (新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里)

去る4月20日(日)午後1時～5時まで、横浜市民文化会館関内ホールにて、平成26年度新人オリエンテーションが開催され、377名の新人理学療法士の参加を頂きました。

普段は、音楽会等のイベントで賑わう事の多い会場ですが、当日に限っては、日本の医療・保健・福祉の未来を担うであろう、若い理学療法士達の熱気で溢れかえっていました。

秋田 裕会長の挨拶と本会役員紹介に始まり、本会の活動状況を伝える6テーマの講演が続きました。かなりの長丁場になりましたが、講師(全て本会役員です)の先生方の熱のこもったお話は、新人ならずとも非常に興味深く拝聴する事が出来ました。新人の皆さん方の心の奥底に響いたものと思います。中でも、学術局新人教育部部長の木村充広先生による『生涯学習新人教育プログラムについて』は、6月から始まる新人教育プログラム研修を皮切りに認定理学療法士から専門理学療法士へ続く長い道のりを、皆さん、真剣な眼差しで聴き入っていたのが印象的でした。新人会員の皆さんにとっては、日々の忙しい臨床業務に身を費やすことが多いとは思いますが、研究活動や県士会活動にも積極的に参加をして頂きたいと思えます。

末筆ではありますが、貴重な週末にも関わらず、新人オリエンテーションの運営に多大なご協力いただいた県士会事務所の皆さんと総務部員各位に感謝申し上げます。



会場の様子



学術サークル活動も紹介しました

あなたのニーズを

“かたち” にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

 (有)木村義肢工作研究所

〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

活動報告

災害対策に対するブロック担当者会議 報告レポート

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 下田 栄次

平成26年6月7日(土)士会事務局にて神奈川県内二次医療圏域プラス1エリアの12ブロックの防災担当(エリアコーディネーター)の方たちにご参集いただき「災害対策に対するブロック担当者会議」を開催しました。



- ・災害(時)理学療法士の役割と目的
- ・県士会災害対策委員会の目的と活動意義
- ・災害対策今年度事業の概要説明
- ・ブロック担当者(エリアコーディネーター)の役割について
- ・発災時における事務局への緊急参集の可否について

ブロックの防災担当者が一堂に会し、今回は顔合わせとその役割の確認、そして各地域におけるそれぞれの特性や現在の状況と、これからの動向について話し合いました。

今回、各地域の防災担当者としてご協力いただく方です。(連絡先はHPに掲載予定です)

川崎北部地区(高津区・宮前区・多摩区・麻生区)	: 大森 豊
川崎南部地区(川崎区・幸区・中原区)	: 佐藤 範佳
横浜北部地区(鶴見区・神奈川区・港北区・青葉区・都筑区・緑区)	: 吉田 公一
横浜西部地区(西区・保土ヶ谷区・旭区・戸塚区・瀬谷区・泉区)	: 佐藤 洋平
横浜南部地区(中区・南区・港南区・磯子区・金沢区)	: 上杉 上
鎌倉・大船地区(鎌倉市・逗子市・葉山町)	: 黒水 俊吾
横須賀・三浦地区(横須賀市・三浦市)	: 芝原 修司
県北地区(相模原市)	: 現在調整中です
県央地区(厚木市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市・愛川町・清川村)	: 中橋 真弓
県西地区(小田原市・南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・湯河原町開成町・箱根町・真鶴町)	: 前田 大助
湘南東部地区(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)	: 杉原 雅美
湘南西部地区(平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町)	: 山口幸三郎

災害対策委員会では「防災・減災」をキーワードにした地域づくりを目指しています。

これからは各地域にて対応させていただきながら災害対策委員会は後方支援コーディネーターとして各地域の連携を積極的に繋いでいきたいと思えます。

今後は9月14日(日)に鎌倉・大船地区にて第1回災害対策キャラバン、10月13日(月)に第3回災害対策研修会を開催する予定です。より多くの方々のご参加をお願いいたします。

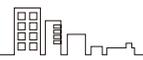
TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階 (横浜駅徒歩2分)

■お問い合わせ 0120-12-6186 (営業時間 10:00~20:00)

 神奈川県 神奈川ロイヤル株式会社

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1
TEL: 045-440-3911 FAX: 045-440-3912



平成25年度 第2回災害対策研修会

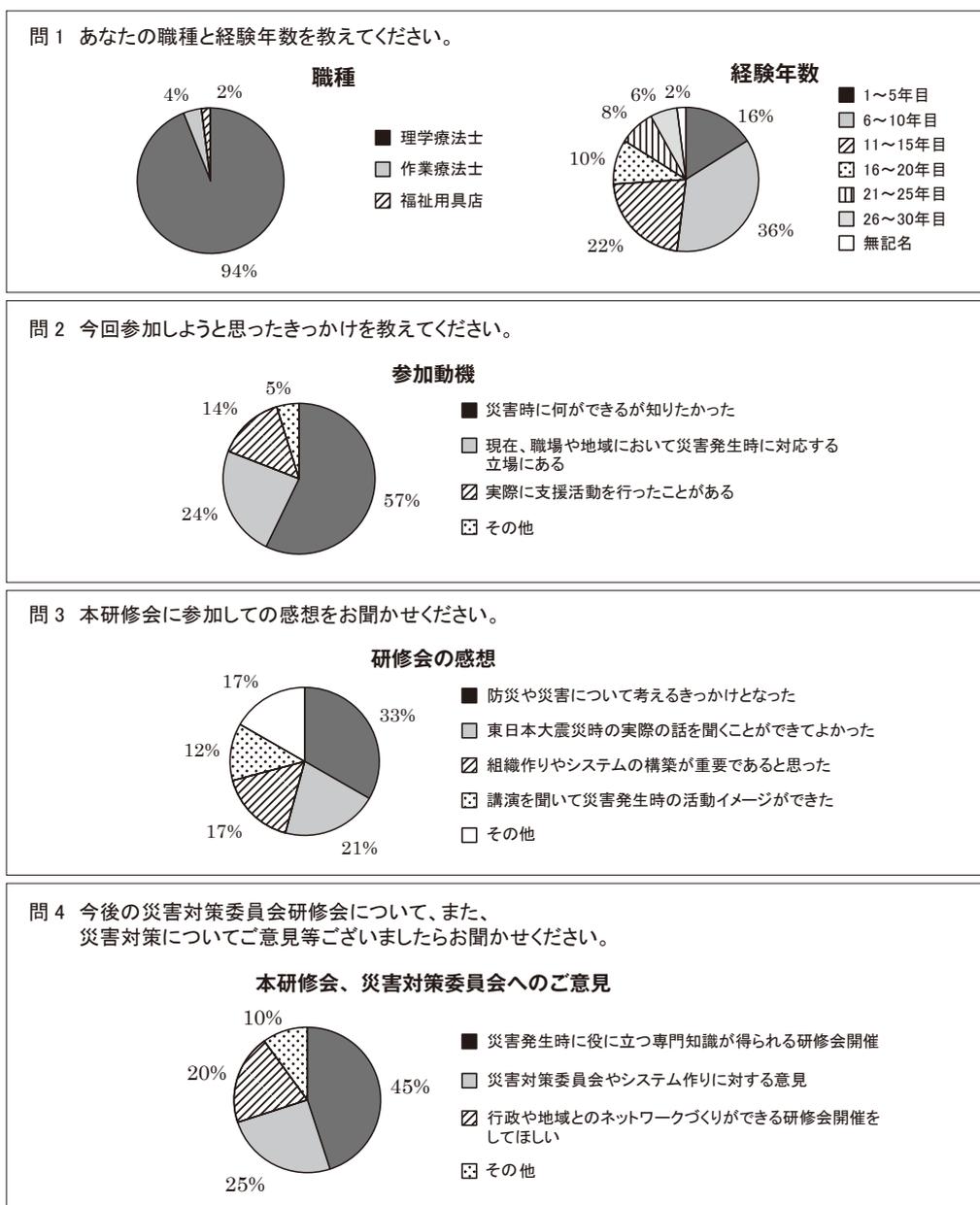
「災害対策研修会に関するアンケート」集計結果のご報告

平成26年1月26日(日)開催の第2回災害対策研修会が横浜ワールドポーターズで開催されました。

研修会へ参加された皆様には「災害対策研修会に関するアンケート」のご協力をお願いし、50名(回答率78%)の皆様からご回答をいただきました。ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

・対象者：平成25年度 第2回災害対策研修会参加者 64名

・回答者数：50名(回答率78%)



皆様からたくさんのご意見をいただき本当にありがとうございました。皆様からいただいたご意見を参考にし、今年度の災害対策研修会や災害対策委員会の活動を進めていきたいと考えておりますので、今後ご協力の程、宜しく願いいたします。

活動報告

子育てと仕事の両立に対する思い～育休から復帰して～

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 (熊切博美)

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第46報

今回は、育休から復職したママPTさんから生の声をお届けします。そうだったかと振り返る人も、新鮮に感じる方も色々だと思いますが、働き続けるために一番頼りになることは、お互いを知ろうとし、思いやりという環境です。これからも、いろんな立場の気持ちをお届けします。周りのこと、自分のことを振り返ってみませんか。

.....

私は生後1才になる娘を持つ母親です。娘が生後10か月の時に産休・育休から仕事復帰をしました。私の産休は切迫早産のリスクのため、出産予定日の4か月前から始まりました。産休に入る時は、「仕事に出られず迷惑をかけてしまう」と、とても申し訳なく思いました。しかし、職場の上司や同僚の方々が「まず、しっかり子供を産むことが仕事だよ」と励ましてくれました。この励ましによって私は申し訳ないと感じながらも、「お休みをいただいてしっかり出産に挑もう」と素直に思えたことを覚えています。もし、みなさんの励ましが無ければ、「復職したとき自分の居場所がないかもしれない」と、復職への不安を抱いていたのではないのでしょうか。急な休みだったにも関わらず、また職員が足りず忙しい中、気遣って送り出して下さった職場の方々には本当に感謝しています。

復職は長期の産休後であったため、仕事の内容を忘れていないか、身体が動くだろうか、娘の体調不良などで休みが頻回になるのではないかなど職場や患者さんに迷惑をかけることばかり気にしていました。実際に娘が熱を出し、休みや早退をとることがありました。そのときは、このまま仕事を続けてもよいのだろうかと思うこともありました。しかし、職場のスタッフが娘の体調を気遣って声をかけてくださり、また職場に休むことを伝える時も笑顔で了承していただくことで、こんなにも安心するものかと私自身とても驚くと同時に、笑顔の大切さを思い起こしました。今は、職場のスタッフの配慮を無駄にしないためにも、娘の体調不良の時は私の母や夫の母に可能な範囲協

力してもらい、できる限り仕事に出るよう環境の調整も試みています。

産休、育休を経て復職してみると、私のこれまでの考え方に変化がありました。一つ目は、子育てがこんなに大変だとは思わず、子育て中のスタッフへの配慮が足りなかったのではないだろうかかと反省したことです。もう一つは、育休中の私は育児に手いっぱいになってしまい、育児がうまくいかないと感じることが多くありました。しかし、復職後、娘を保育園に預けることで、娘だけでなく周囲にも目をむけることができるようになりました。また、職場でアドバイスをいただけることや新しい仕事をもらって頼っていただけていることが、自分にとって刺激となり、仕事と育児への強いモチベーションになることが改めてわかりました。また、患者さんが笑顔を向けてくれることは、仕事に対するやりがいを再認識することにつながりました。これからは自分自身のためにも、仕事において成果をあげられるよう、視野を広げつつしっかりと向き合っていきたいと思います。

娘は少しずつ保育園に慣れてきたようで、仕事が終わって保育園に娘を迎えに行くと、ニコッと笑顔で迎えてくれるようになってきました。少しずつ自立していく娘をみることはとても嬉しく、今の生活ができるようになったことにとっても感謝しています。これからは、仕事で学んできたことを育児に活かしていきたい、また、育休中に交流した人たちと関わったことで得た知識や感じたことなど、育児で学んできたことを仕事に活かすことが出来るよう考えています。まだ迷惑をかけてしまうこともありますが、これまでお世話になった方々への感謝を忘れずに、そして、私の働いている姿を見て、娘自身が働きたいと思ってもらえるよう、私自身が楽しく精一杯やっていきたいと思っています。

.....

■学会での活動報告

先日の第49回日本理学療法学会で、シンポジウム、



休会員・自宅会員へのアンケート調査の結果報告、託児室のアンケート調査を実施しました。多くの方に関心をもっていただき、就業環境を考える活動は着実に広がっていると感じました。次号にて、詳しく報告いたします。今後ともご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

修の参加者を随時募集しています。離職理由は問いません。参加希望の方、気になった方はホームページの会員ライフサポート部のページをご覧ください。お申込み、お問い合わせは下記のメールにお願いします。

✉ lifesupport@pt-kanagawa.or.jp



■ご案内

□ 復職支援実務研修のお知らせ

離職中で復職に不安を抱える方を対象にした、実務研

● 託児室付研修会（予告）

・平成26年11月9日（日）
介護保険部主催研修会
ワールドポーターズ横浜にて

・平成26年度12月21日（日）
会員ライフサポート部主催研修会&交流会
ウィリング横浜にて

いずれもフィジカルアセスメントがテーマになる予定です。両日の内容は違うものを予定しています。また、その他の研修会にも託児室の設置を検討中です。詳細が決まりましたら、ホームページの会員ライフサポート部のページへ掲載していきます。

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社 **Affac**
首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 **No.1**

平成25年度（インシニアランス生命保険統計）

理学療法士 在宅酸素療法の包括的サポートツール

さんに是非使って頂きたい！ **Pallet's** 運動療法・呼吸療法等＋リモコン機能＋災害対応
電話 **045-852-8170**

パレット

=

+

株式会社 星医療機器

学会情報



— 第32回神奈川県理学療法士学会新聞 vol.1—



新企画「地域症例リレー」！ 「ベテラン症例発表」！

(準備委員運営拡大会議後の懇親会にて)

第32回神奈川県理学療法士学会会長の平です。さて、学会の準備も本格的に始動し各準備委員も忙しく準備に追われています。今回のニュースではまずテーマについて皆さんに報告させて頂きます。学会のテーマは「社会貢献・県民に選ばれる理学療法士になるには」に決定しました。社会貢献とはもちろんボランティアと違うところではあります。これはある生産企業の経営者の言葉ですが「企業は社会に必要とされなければ社会に存在する意味はない。そのため企業は社会に必要とされる製品を作る

らなければならぬ」ということを話されてました。社会に存在する以上心のどこかで社会に必要とされているのか？という意識を持つことは大事なことでないのでしょうか。おそらく、理学療法士として悩みや迷いがあつた時それが社会に必要とされているものであつておそらく道は間違つていないように思います。臨床分野であれば患者に必要とされる治療を提供する、研究分野であれば将来臨床に活かされる研究を行う、教育分野であればそのような志を持つ理学療法士を育成する、など我々理学療法士が関わると振返る領域で改めて思い、「社会貢献」と本学会のテーマとさせて頂きました。サブタイトル「県民に選ばれる理学療法士になるには」とあるように我々の社会貢献の結果は最終的には県民が選んでくれるかどうかで判断されるかと思つています。このテーマに沿つてまいりませうので、来年

学会テーマ決定！！

社会貢献
県民に選ばれる
理学療法士になるには
学会長メッセージ

県学会新聞



3月の神奈川県理学療法士学会を楽しみにして頂きたいと思つています。
※新企画※
症例リレー

新企画として「地域症例リレー」が行われることになりました。「地域症例リレー」は、同一症例の急性期から回復期、生活期(維持期)に至るリハビリテーションの過程を各病期の施設ごとリレー形式で発表していくという企画です。発表内容は経過や予後予測を中心に話を進め、より効果的な連携を検討できればと思つています(1症例予定)。急性期病院から始まり回復期病院、老健、訪問リハ、デイケア等へどのようにバトンがリレーされていくのでしょうか？
えっご期待ですね！

ベテラン症例発表
普段なかなか聞くことのできない先生方の口述発表を1セッション企画します！



準備委員

- 大平功路 (学会長)
- 神原雅典 (運営)
- 清水美紀 (学術)
- 廣江圭史 (財務)
- 赤羽太郎 (副学会長)
- 山口耕平 (運営)
- 玉井洋平 (IT)
- 藤森大吾 (総務)

演題募集期間決定
(今大会より抄録が電子化されます！)
8月1日演題登録開始
9月30日登録締切

●県士会主催

研修会・講習会



平成26年度 リーダー研修会のお知らせ

神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：理学療法士に求めるマネジメント能力

内容：2025年に向けて、地域包括ケアシステムが本格的に動き始めました。理学療法士は年間1万人が養成され、2025年には23万人以上に達すると推測されます。若い方々の就労先の確保のためにも、制度の変化に柔軟に対応し、現状の職域にとどまらず、あらたなる分野への拡大が望まれます。演者は協会、県士会の取り組みも重要と思いますが、個々の職場の管理職が制度の変化を感じ、職場内での職域拡大に取り組むことが、最も効果的と考えます。

今回の講演で①地域包括ケアシステムと理学療法士、②質の高い理学療法士を育てる職場管理、③リーダーシップ能力の再点検などの内容から、職場の課題を明確にし、改善策を考える研修を目指します。

日時：平成26年10月12日(日)10:00~13:00(受付9:30~)

会場：LEN貸会議室「横浜関内9階大会議室」
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町252
グランベル横浜ビル 1F・9F

(根岸線「関内」駅徒歩5分・みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩8分)

講師：森本 榮 先生(医療法人社団輝生会)

受講料：無料

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：平成26年8月11日(月)14:00~10月3日(金)17:00

定員：100名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：神奈川県内の理学療法士(どなたでも参加可能です)

単位認定：履修ポイントについては現在詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科
理学療法専攻 末政 友佳子
E-Mail: suemasa-dsi@kuhs.ac.jp

平成26年度 内部障害領域講習会のお知らせ

神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：摂食・嚥下障害に対する理学療法士の関わり方
~呼吸機能に関連した身体機能の評価と対応~

内容：病院から施設や在宅へ職域が広がるにつれて、摂食・嚥下障害に関わる理学療法士は増えています。今回は、嚥下機能と深く関係している呼吸機能を中心に身体機能評価と対応について、実技を交えて行いたいと思います。

日時：平成26年9月23日(火・祝)13:00~17:00
(受付12:30~)

会場：神奈川リハビリテーション病院
神奈川県厚木市七沢516

講師：小泉 千秋 先生(七沢リハビリテーション病院
脳血管センター 理学療法士)

受講料：会員2,000円、他士会員5,000円

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修

会情報]をご参照ください。

申込受付期間：平成26年7月23日(水)14:00~9月16日(火)17:00

定員：50名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：神奈川県理学療法士会会員および協会員のみとなります。

非会員は受講できませんのでご注意ください。

単位認定：【新人教育プログラム履修者】

「理学療法の臨床：C-3内部障害の理学療法：1単位
【専門領域研究部会登録者】

「2.講習会・研修会の受講 5)都道府県士会主催の講習会・研修会」：10ポイントー対象研究部会ー 4.内部障害理学療法研究部会「b 認定理学療法士(呼吸)」「d 専門理学療法士」

お問合せ先：七沢リハビリテーション病院 脳血管センター
理学療法科 尾崎 将俊
E-Mail: nanasawa-pt@kanagawa-rehab.or.jp

研修会・講習会



臨床実習教育部主催 研修会のご案内

テーマ:「現代の学生気質」

内容:臨床実習は学生が知識と技術を統合し総合的な実践力を養う場であり、卒前教育において極めて重要なものです。しかしながら、実習指導者にとっては指導に伴う業務の増加に加え、学生とのコミュニケーションにおける問題など、精神面での負担も増えているのが現状です。臨床実習教育部では、これらの問題を解決するための一方策として、現代の学生の気質を知ること重要なのではないかと考えました。本研修会では、「現代の学生気質」のテーマのもと、溝上慎一先生、長澤弘先生を講師としてお招きしました。溝上先生は、大学生を研究対象とした「若者気質」や「大学生のアイデンティティ」に関する研究をすすめておられ、教育学の世界では新進気鋭の研究者として知られている先生です。理学療法士を目指している現代の学生とのコミュニケーションを考えるうえで、多くの示唆を与えてくださるものと思います。そして、長澤弘先生からは、長期にわたり理学療法士養成をされてきたご経験から、理学療法士を目指す学生の特性についてご講演いただく予定です。今回の研修会はワークショップ形式をとり、多くの意見を交換できる場としたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。

講師:・溝上 慎一 先生(京都大学高等教育研究開発推進センター)

・長澤 弘 先生(神奈川県立保健福祉大学)

日時:平成26年9月7日(日)13時~16時(受付開始12:30~)

場所:横浜ワールドポーターズ 6階 イベントホールA
(〒231-0001神奈川県横浜市中区新港2-2-1
JR桜木町駅から徒歩約10分、みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅から徒歩約5分)

参加費:会員2,000円,他士会員5,000円

単位認定:1)新人教育プログラム履修者

「理学療法における人材の育成 E-1 臨床実習指導方法論」:1単位

2)専門領域研究部会登録者

*「2.講習会・研修会の受講 5)都道府県士会主催の講習会・研修会」:10ポイント

*対象研究部会:教育管理理学療法研究部会

「a 認定理学療法士(臨床教育)」

「d 専門理学療法士」

申込要項:参加登録はオンライン登録といたします。

神奈川県理学療法士会ウェブサイト[講習会・研修会・イベント情報]より登録して下さい。

定員:100名

登録期間:平成26年7月16日(水)~平成26年8月22日(金)

お問合せ先:E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp

臨床実習教育部長 坂本 美喜

(北里大学医療衛生学部)

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>

●他関連団体主催

研修会・講習会



第15回日本認知神経リハビリテーション学会 学術集会

テーマ: 半側空間無視と失行症—新たな理解への航海
内容: 高次脳機能障害は、臨床でも多くの患者が有しており、その症状や障害の深刻さは既知の事実である。特に、右半球損傷に伴う半側空間無視と、左半球損傷に伴う失行症は、大脳のラテラルティエを如実に表現した障害であり、麻痺の回復を考える場合にも重要な因子となる。本学会では、“脳を理解”し、そして“半側空間無視や失行症の新たな理解”へと繋げ、臨床における航海図を示していきたいと思う。

日時: 平成26年8月30日(土)～31日(日)
会場: 神奈川県立青少年センター
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f602/p7333.html>

講師: 特別講演
 ・坂井克之 (玉川大学脳科学研究所)
 ・中川賀嗣 (北海道医療大学)
 ・石合純夫 (札幌医科大学)
受講料: 事前登録 (会員) 10,000 円 (非会員) 11,000 円
 当日受付 (会員) 12,000 円 (非会員) 13,000 円
 (学生) 3,000 円

※事前登録は 7/1 頃より学会 HP 内にて開始予定
主催団体名: 日本認知神経リハビリテーション学会
お問合せ先: 日本認知神経リハビリテーション学会 HP
<http://www.ctejapan.com/>
 第 15 回学術集会事務局 E-mail:etc.yokohama.2014@gmail.com

●他団体

Functional Mobilization Lower Quadrant (FMLQ)

—下部体幹・骨盤帯・下肢の機能障害に対するFunctionalMobilizationアプローチ

内容: 本コースは、Functional Mobilization シリーズの上級コースであり、骨盤帯、腰椎、股関節、膝関節、足関節各部位に焦点をあてた、メカニカル・神経筋・運動制御における機能障害に対する系統的評価・治療体系です。尾骨の偏位を修正することにより、硬膜のテンションを変化させ神経症状を緩和する方法や、腰椎・股関節から相対的に見た仙腸関節障害に対する治療など、革新的かつ実践に則したテクニックを数多く紹介します。

日時: 平成26年9月12日(金)～9月15日(月)
 9:00～19:00
会場: 横浜リハビリテーション専門学校
参加資格: FM1 と PNF1 の受講修了者
定員: 24 名
講師: Gregg Johnson (PT/FFMT)、通訳 Yoshi Fujii (DPT)
受講料: 126,000 円
主催団体名: NPO 法人 IPA JAPAN
お問合せ先: info@ipajapan.com

リハビリ実用英会話セミナー

内容: 今回は、患者様がリハビリ室に入って来られてから、評価、治療するまで一通りの英会話を学びます。発音はすべてネイティブスピーカーによるものです。暗記方法のレクチャーもあり、セミナー時間内に全員が会話文を暗記することを目標とします。また、リハビリ場面特有の勘違いしやすいスラングなども学びます。海外留学経験者の体験談なども聴くことができ、世界観を広げるきっかけになると思います。

日時: 平成26年7月27日(日)10:00～15:00
会場: 横浜駅周辺 ※追ってご案内いたします
対象者: 海外でのPT、OTライセンス取得を目指す方、国際大会のサポートをしたい方、海外での学術研究会で発表

したい方、外国人患者様の多い病院で働いている方
講師: 山下真理衣 (日本人講師)、Terry (外国人講師)
受講料: 15,000 円
主催団体名: 日本医療英会話協会
お問合せ先: 山下真理衣 いずれかの方法でお申込みください。
 ①電話 080-8882-2480、②FAX 045-345-0279、
 ③メール info@medical-english.biz
 なお、②、③の場合、下記の必要事項をご明記の上、お送りください。
【記載必要事項】・参加者氏名・メールアドレス・電話番号・住所・勤務先病院名

Gift

日本ウイール・チェア
 オリジナルカーシート
 (150センチ程度まで)



車いすなんでも相談



日本ウイール・チェア株式会社
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
 TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました
☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

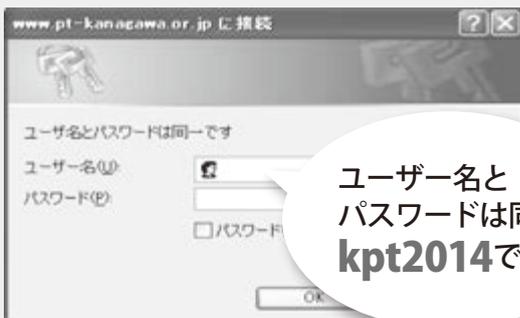
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

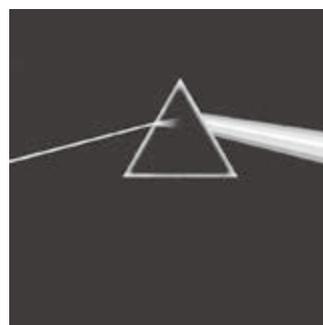
余剰を愉しんでみよう (2)

その昔、「太宰は、はしかだ」と喝破した故・中島梓氏の慧眼には恐るべきものがあります。確かに、太宰作品というのは読むと取り込まれそうになる魅力を放つ時期というのがあります。それは決まって思春期と呼ばれる時期です。ところが、いったんその旬の時期を過ぎてから再読すると、なぜ、こんなものにあれほど心酔したのかとってしまうのです。大人になってから読み返して追体験できるものもあるというのに、なぜ太宰は「はしか」なのか？これを論ずるには、文学に造詣の浅い私では役不足ですが、それでも「はしか」を経験した者として、それがアイデンティティと関わるものなのだろうということは、何となく推察できます。

ご存知の通り、思春期は誰もが「私は何者であるか？」という自分への問いかけと闘いながら、自己のアイデンティティを確立させる時期です。当然、経済的にも自立していないので、社会の中で確固たる位置など持てない自分を理解しながらも、肥大化する自我を抑え込めないジレンマに苦しむ時期とも言えます。多くの若者は、そんな中、社会的実験で失敗を繰り返しながらもアイデンティティを確立していくことで成長を遂げます。「十五少年漂流記」から「ワンピース」まで大昔から続く冒険成長物語の系譜が多くの人に受け入れられるのは、それが誰もが通る成長の道を魅力的、かつ肯定的に描いているからです。

太宰作品はこうした成長物語の「雄々しさ」とは異なるベクトルを持っています。それは、アイデンティティが危機に陥っている時の自分の「うじうじ」をそっと包んでくれるような甘い感覚です。これは一種の麻薬です。今でも「うじうじ」の効用を認めるタイプの私ですら、再読すると、その雰囲気になんか甘えた若い自分を見て嫌になります。これが、太宰を「はしか」にしてしまう要因なのかもしれません。

今回紹介するのは音楽です。古い作品で恐縮ですが、Pink Floydの「The Dark Side of the Moon (邦題:狂気)」です。1973年に発表された彼らの7枚目のアルバムで、ビルボードチャート200位以内に15年間に渡ってランク



Pink Floyd
“The Dark Side of the Moon”
Originally released
in 1973

インし続けた傑作です。私見ですが、ロックミュージックはモラトリアムの音楽だと思います。1960年代以降、ロックミュージシャンが夢を語りながらも徐々に人間の内的世界に踏み込んでいったのは、時代背景に加え、もともと芸術には「私は誰？」というアイデンティティに注目する要素があったからでしょう。Pink Floydはこの作品の中で社会に生きる人間の孤独を、時間、お金、戦争などいろいろな側面から切り取ってみせます。文学的だがわかりやすい詩の裏に、作者のRoger Waters自身がうまくアイデンティティを確立できなかった事実が見え隠れします。実際、彼はその後、自らの体験が強くベースになった何とも救いのない「The Wall」を作り上げるのですが、この作品ではまだ、語られる孤独がいくぶん比喩的なので拮据りを感じられます。

恋愛や夢のような要素が皆無の、考えようによっては根暗の作品ながら、そうした「うじうじ」が太宰ほど強烈な「はしか」にならず、かつ多くの人に支持される場所に、音楽としての優れたバランス感覚を見ます。それはGuitarのDavid Gilmourが大きく貢献している部分でもあります。詩、曲、録音、ジャケット、どれをとってもロックミュージックの金字塔と言えるこの作品を、もし、未聴の方がいれば一度お試しください。あなたが大人になっていても、なっていないくても味わえる古くて新しい感動を保証します。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部
理学療法学科 谷 浩明

SAKAimed

明日に踏み出すチカラ。酒井医療

酒井医療株式会社 横浜営業所
横浜市都筑勝田南 2-18-5
tel : 045-590-5485
www.sakaimed.co.jp

編集後記

この号が出る頃には、雨も減り、私が住んでいるマンション前の国道をジョギングする人も増えていると思います。残念ながら私は昔から、毎日走る人のことが理解できません。そんな文化系の私が、なぜか最近、増田俊也氏の「木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか？」(新潮文庫)を読みました。上下巻で1,100ページを超える大作です。不世出の天才でグレイシー一家からも讃えられた木村は、驚異的な肉体と絶対的な技を途方もない練習量で作り上げ、格闘家として最強だったにも関わらず、力道山との対決を境に不遇の人生を送ることになります。膨大な資料と取材をもとに18年の歳月をかけてこの謎に迫る著者の強い思いが感じられる作品でした。ノンフィクションの作家は、信念と粘り強さを持ちながらも、データから得られるものに真摯であるというその点において優秀な研究者と似ています。どんな世界でも、簡単にわかった気にならず、年月をかけて追求していく姿勢が大事だということです。もしかしたら、土会ニュースの意義を見いだすというの、あまり性急にならず、毎日何かを積み上げている人の気持ちを理解するところから始めるべきなのかも知れません。(谷)

次号の原稿締め切りは**8月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部(ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルをお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

— 求人広告掲載についてのお知らせ —

これまで本ニュースにおいて掲載しておりました求人広告ですが、2014年3月号をもって終了とさせていただきます。

今後は、ホームページのみの掲載となります。

ホームページでの求人掲載の申込方法については、以下のURLよりご確認ください。

<http://pt-kanagawa.or.jp/members/job-offer/recruit/>

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
 部長：谷 浩明 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 部員：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 田島 敬之 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



Daiwa House
大和ハウスグループ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL®福祉用は、
全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中!

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
 ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室



地域密着型のお仕事です。一緒に働いてみませんか?

介護サービス
児童サービス

Well

サービスセンター Well(ウェル)

リハビリサポート
介護サービス

足柄ハビリテーションセンター
ふらっと

介護サービスセンターふらっと

ほく、かながわん!

PT・OT・ST・看護師 募集中!

ARS
訪問看護
リハビリ

ARS訪問看護
リハビリ

介護サービス
障がい児・者サービス
ふらっと

ふらっと



(有)足柄リハビリテーションサービス

TEL: 0465-39-3730

URL: <http://ashigara-reha.jp/>